

## 京丹波町における須知高校のあり方懇話会（第2回）

### 会議概要

日 時 平成27年11月19日（木） 午後3時～5時  
場 所 京丹波町役場 議場  
出席委員 井戸委員、江本委員、上田委員、杉山委員、谷山委員、長谷川委員、平田委員

#### 1 開会

#### 2 座長あいさつ

参集のお礼を申し上げる。前回様々な状況を報告いただき、今回も限られた時間ではあるが、積極的にご意見を伺っていききたい。

#### 3 事務局より前回会議の概要等について、資料により報告し情報を共有する。

#### 4 懇話概要（※魅力ある須知高校のあり方や活性化対策について）

①杉山委員より、須知高校での経験と将来展望について意見提言

②谷山委員より、須知高校での経験と将来展望について意見提言

③江本委員より、須知高校に対する希望について意見提言

#### ④質疑及び意見交換

委員：卒業生からの意見提言は大きな励みとなった。小中学生からのあこがれの存在となる為には何が必要かを考える機会となった。

委員：様々なあこがれがあるということは高校生の使命感や行きたい学校にもつながる。高校での学びの機会、自己存在感・自己肯定感・自己猶予感にも大きな影響を与える。

委員：あこがれられる子への励ましも必要ではないか。卒業生からの体験談を聞くことで励ましにつながり自信をもつことにもつながる。

委員：地元の高校を卒業し地元で起業することは大きな意味がある。これは、地元で高校が存在することが強みでまちづくりの基本となる人材確保にもつながる。地域産業を活性化する人材育成ということが府立高校にも求められており、須知高校においても専門学科における実績づくりや、スポーツ分野における積極的な取組みをどのように展開していくのか、今後の課題である。

事務局：今後の専門学科においては本物を突き詰めていくために、本物を見せて実際に体験させることは大変重要（実際に地元へ戻り活躍している方も多数ある）。また、（普通科

中心に) 地域の中で学ぶ・評価される機会をもつことで、須知高校の学びの特色を出すということも必要ではないか。(次回報告させていただく)

委員：幅広い生徒が通う中では、地域や家庭と連携した指導も大変重要である。

委員：自身が認めてもらえる機会は自己実現していく過程では重要である。専門学科をさらに飛躍させるためには、大学や企業等との連携や、食の宝庫であるまちの特色を生かすためにも、まちづくり政策と絡めて発信していくことが大事である。

委員：家庭団欒の機会が少なくなった環境の中で、福祉やまちが広くつながる支援が必要。小中学校と高校が連携することで、一体的なサポートを考えていければよい。

委員：他校での取組みとして、面倒見のよい教育を目指しているところもある。須知高校には自己肯定感をもって社会に送り出すことが出来る学校としても期待している。

委員：須知高校で個性を伸ばしていただいた。校内に頑張れば変われるという雰囲気があった印象である。観光甲子園などの取組みはその大きなキッカケとなっているので、CATV等で町内に発信すれば、色んな広がりがあるのではないか。

委員：専門学科では資格取得ということも考えられるが、資格が就職につながるものでない現実もある。専門学科卒業後のフォローも必要ではないか。

事務局：近年は地元中学からの専門学科への進学率が高くなってきた。さらに魅力を高め広域的な募集のためにも、生産だけでなく付加価値をつける取組み(6次産業化や加工・調理、畜産関係など)も必要性を感じている。

委員：現状の専門学科の体制としては、生産という過程までで高校の期間が終了してしまうのが現実である。都道府県の取組みも異なるが、小規模でもキラリと光る農業教育という可能性も考えられる。

委員：町をあげてブランド化するための取組みができないか。

委員：専門学科と産業がつながるよう(例えば高校生レストラン)、まち全体でコーディネートしていけば、ひとの流れにもつながると考える。

委員：自身の工房では作りたてが一番おいしいということを多くの人に知ってもらうことで、まちに来ていただくことにつながれば良いと考えている。

委員：校内の将来構想検討会議へ報告しながら、普通科スタンダードでの取組み、専門学科における調理師養成など、検討する。

委員：色々な夢が具現化していけばよいと感じた。

委員：地元での人材育成、部活動の重要性、家庭教育の重要性など多くを議論いただいた。OBの高校に対する意識改革も含め、地元唯一の高校として地域への貢献に対する期待をどう取りまとめていくか、引き続きご意見を伺っていきたい。

## 5 今後のスケジュールについて

- ・次回懇話会について、12月10日(木) 午後3時を予定。会場は未定。
- ・大学、小中学校との連携、地元行政との連携について視察報告し、まちづくりに向けた活性化を検討していくことを確認。

## 6 閉会